

# 「人と自然と歴史が織りなす 豊かなまち とみおか」をめざして

平成18年3月27日に富岡市と妙義町が合併し、新市が誕生し、2年が経過いたしました。

本市を取り巻く状況は、地球温暖化やごみ処理などの環境問題、人口の減少と少子高齢化の進展、防犯、防災意識の高揚、富岡製糸場の世界遺産登録の推進など、さまざまな課題がございます。



このたび作成した第1次富岡市総合計画については、これらの諸課題に対応し、新市の礎を固めるための大切な時期の大切なまちづくり計画となるものと考えています。

そこで、計画策定においても、地区別懇談会や計画策定市民委員会など、たくさんの市民の皆様に参加していただきました。

また、市民の皆様が総合計画を身近なものと感じていただくため、市民の皆様から見て、計画の進行状況や成果がわかりやすいように、まちづくりの指標を設けることとし、各施策に計画最終年度の目標値を掲げました。そして、市民参加を進めるため、市民の皆様が気軽に取り組めることを「市民の役割」という項目で、市民の立場に立った表現で、示させていただきました。

この8年間においては、まちづくりの基本構想であります総合計画を市民の皆様とともに進めることを基本に、将来像である「人と自然と歴史が織りなす豊かなまち とみおか」を実現させ、誰もが心豊かに暮らせる生活環境を整え、県内でもきらりと輝く、美しく、住みやすく、元気な都市として発展していきたいと考えています。

終わりに、計画策定に当たり、数多くの貴重なご意見やご提言をいただきました審議会委員や市民の皆様が心からお礼を申し上げます。

平成20年3月

富岡市長 岩井 賢太郎